

# 平成 2 1 年度北塩原村管理橋梁点検結果

## 1 . 点検実施橋梁

平成 2 1 年度に実施した橋梁点検（全 1 8 橋）の、橋種別等の集計を図 - 1 に示す。

橋長は全ての橋梁が 1 4 . 5 ~ 5 0 m となっている。

橋種は鋼橋が 3 割強、P C 橋が 6 割強、その他橋梁が 1 割弱となっている。

架設後経過年数は 0 ~ 9 年が 1 割弱、1 0 ~ 2 9 年が 3 割強、3 0 ~ 4 9 年が 4 割強、5 0 年以上が 2 割弱となっている。

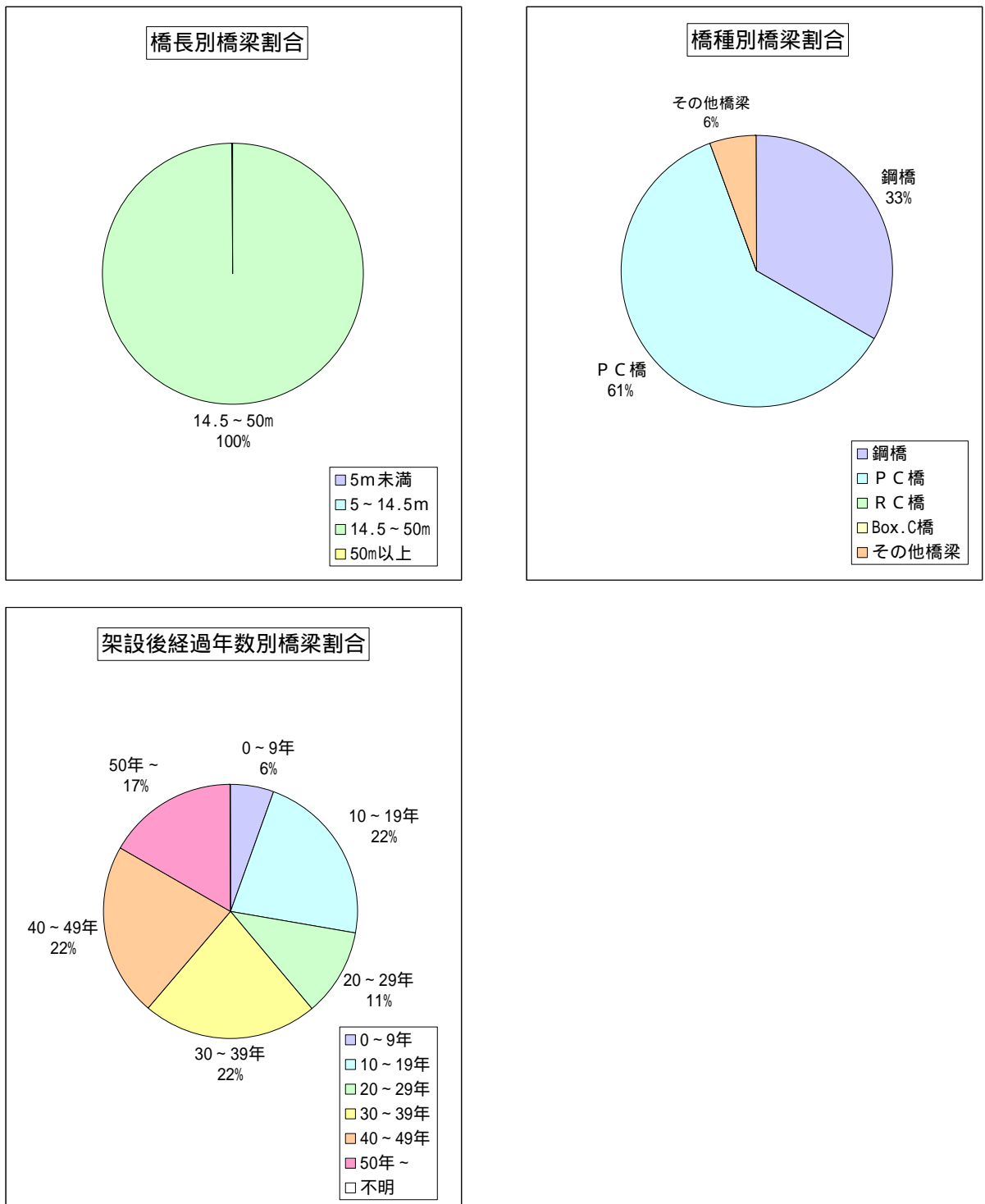


図 - 1 平成 2 1 年度橋梁点検の内訳

## 2. 損傷状況

平成21年度点検橋梁の損傷については以下の傾向が見られる。

橋梁主構造（上部工、下部工）の損傷が9割程度で見受けられる。

（全18橋、損傷橋梁16橋、割合89％）

路面の凹凸、舗装の異常及び高欄・防護柵の損傷が7割程度で見受けられる。

（全18橋、損傷橋梁13橋、割合72％）

### （1）鋼橋

緊急保全または予防保全が必要な損傷のあった橋梁は6橋あり、鋼橋全体（6橋）のうち、100％にあたる。

表 - 1 鋼橋の損傷内容

橋種	部材	損傷	箇所数
鋼橋	桁	腐食	6
		亀裂	0
		ボルト脱落	0
		破断	0
	床版	ひびわれ	5
		鉄筋露出	0
		抜け落ち	0
	下部工	ひびわれ	2
		鉄筋露出	0
		変状	0
	支承	機能障害	0
	伸縮装置	損傷	4
	損傷数		17
	実橋梁数		6
点検数		6	
損傷率		100%	

### （2）PC橋

緊急保全または予防保全が必要な損傷のあった橋梁は9橋あり、PC橋全体（11橋）のうち、82％にあたる。

表 - 2 PC橋の損傷内容

橋種	部材	損傷	箇所数
PC橋	桁	ひびわれ	4
		鉄筋露出	0
		定着部異常	1
	床版	ひびわれ	2
		鉄筋露出	0
		抜け落ち	0
	下部工	ひびわれ	4
		鉄筋露出	0
		変状	0
	支承	機能障害	1
	伸縮装置	損傷	9
	損傷数		21
	実橋梁数		9
	点検数		11
損傷率		82%	

( 3 ) R C 橋

緊急保全または予防保全が必要な損傷のあった橋梁は0橋あり、R C 橋全体 ( 0 橋 ) のうち、0%にあたる。

表 - 3 R C 橋の損傷内容

橋 種	部 材	損 傷	箇所数
R C 橋	桁	ひびわれ	0
		鉄筋露出	0
		定着部異常	
	床 版	ひびわれ	0
		鉄筋露出	0
		抜け落ち	0
	下部工	ひびわれ	0
		鉄筋露出	0
		変 状	0
	支 承	機能障害	0
	伸縮装置	損 傷	0
	損 傷 数		0
	実橋梁数		0
点 検 数		0	
損 傷 率		0%	

( 4 ) ボックスカルバート橋

緊急保全または予防保全が必要な損傷のあったBox.C橋は0橋あり、Box.C橋全体 ( 0 橋 ) のうち、0%にあたる。

表 - 4 ボックスカルバート橋の損傷内容

橋 種	部 材	損 傷	箇所数
Box.C橋	桁	ひびわれ	
		鉄筋露出	
		定着部異常	
	床 版	ひびわれ	0
		鉄筋露出	0
		抜け落ち	0
	下部工	ひびわれ	0
		鉄筋露出	0
		変 状	0
	支 承	機能障害	
	伸縮装置	損 傷	
	損 傷 数		0
	実橋梁数		0
点 検 数		0	
損 傷 率		0%	

( 5 ) その他橋梁

緊急保全または予防保全が必要な損傷のあった橋梁は1橋あり、その他橋梁全体(1橋)のうち、100%にあたる。

表 - 5 その他橋梁の損傷内容

橋種	部材	損傷	箇所数
その他	桁・床版	腐食	0
		亀裂	0
		ボルト脱落	0
		破断	0
		ひびわれ	0
		鉄筋露出	0
		抜け落ち	0
	下部工	ひびわれ	1
		鉄筋露出	0
		変状	0
	支承	機能障害	0
	伸縮装置	損傷	1
	損傷数		2
	実橋梁数		1
点検数		1	
損傷率		100%	

( 6 ) 橋面

路面の凹凸、舗装の異常、高欄損傷のあった橋梁は13橋あり、橋梁全体(18橋)のうち、72%にあたる。

表 - 6 橋面の損傷内容

橋種	部材	損傷	箇所数
全橋	路面	凹凸	5
		舗装の異常	4
	高欄	損傷	13
	損傷数		22
	実橋梁数		13
	点検数		18
	損傷率		72%